

〈隷書〉

華影紙窓更盡月
蟲聲草榻曉涼天

清原大龍先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする)

半折作品は各課題ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

〈楷書〉

花影紙窓更盡月
虫聲草榻曉涼天

山本飛雲先生書

□ 花影紙窓更盡の月、虫聲草榻曉涼の天。(鄭梁)

次号予告「初月挂簷窓未覺 新涼入牖簾先知」

〈行書〉

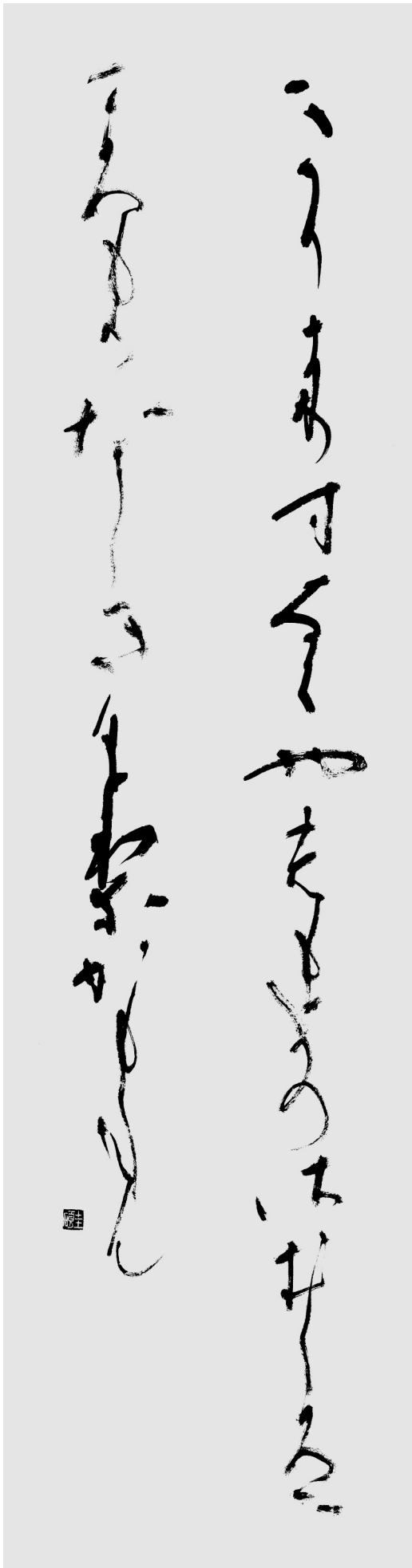
小畠秋聲先生書



▽花の影が紙張の窓に映じたのは五更のつきる頃の月のせい、虫の声が草のこしかけに聞こえるのは夜明けの涼しい頃であった。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□きりぎりすなくや志もよの 佐むしろ二 ころも可たしき 日と梨かも年无

きりぎりす 鳴くや霜夜の さむしろに 衣かたしき ひとりかも寝む

△百人一首九十一▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

渡邊大嶽先生臨

金暉誕照於聖歲現
世眷屬萬福雲歸

▽孫秋生造像記

金暉誕照於聖歲現世眷屬萬福雲歸

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

海に臨む鳥對岸路を
行餘しと通る筆が風に吹かれて

□臨海の道にて（抄）

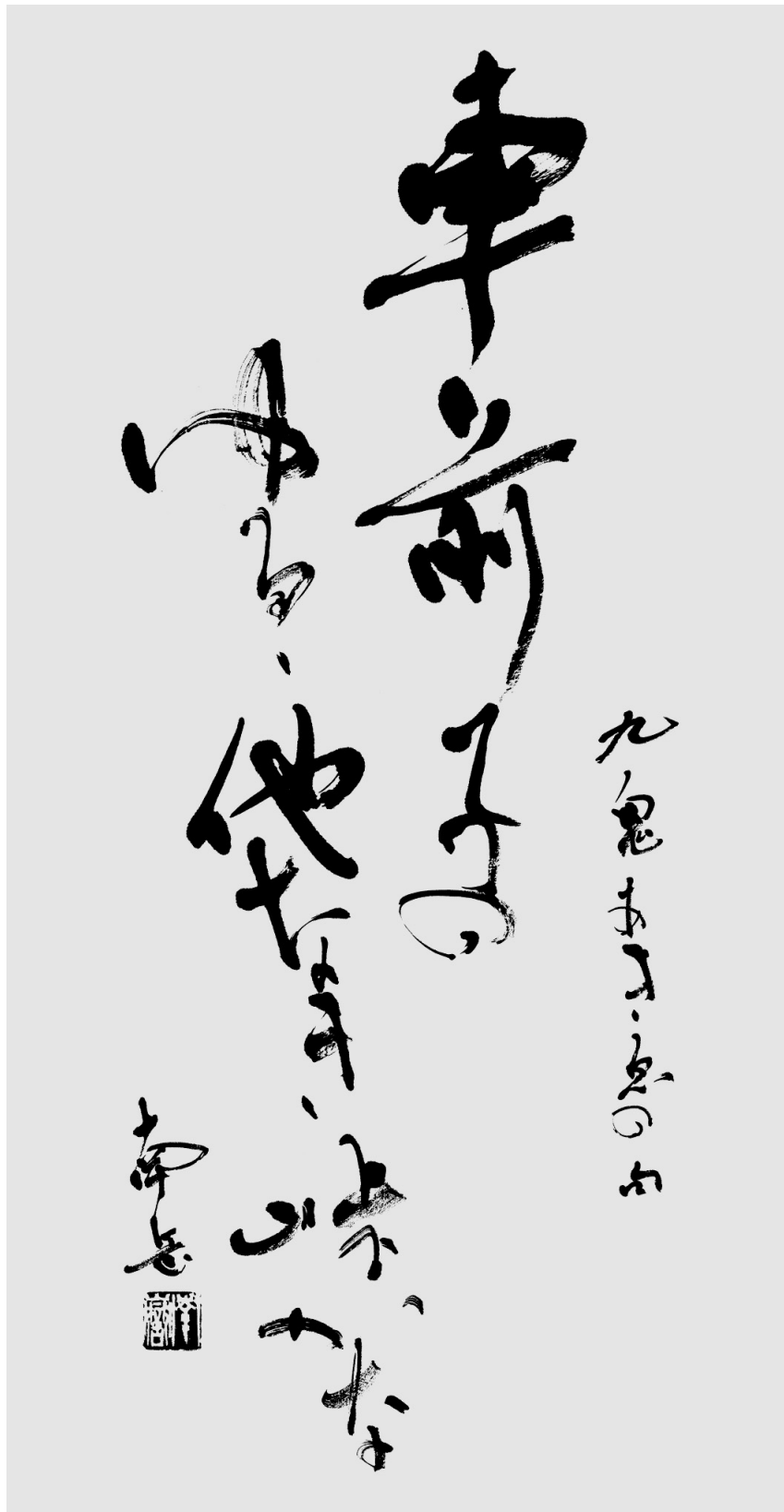
高橋元吉の詩 海に臨む高い断崖 路はその下を紆餘して通る 芒が風に吹かれてゐる

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横／＼一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意参考手本（半折½縦のみ） — 9月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



□ 九鬼あきゑの句 車前子おおばこの ゆる、他なき 峠かな

オオバコは人の行くところ、どこでも見られる。葉の形から「大葉子」であろうか。

井之上 南 岳 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

□「君看双眼色 不語似無憂」 白隠禪師の句 君看^みよ双眼^{そくがん}の色 語らざれば憂^{うれ}いなきに似^にたり

『その目を見てごらんなさい。何も言わなければ憂いなどないようにみえるだろう』
人はみな、悲しみを抱えて生きている。その悲しみが大きければ大きいほど人には語れず、じつとひとり堪え忍ぶことになる。そういう人は強くて優しい。人の痛みがわかるから。



(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 峻節は秋霜を貫く(宋〈六朝〉顔延之)
気高い貞節は厳しい秋の霜を貫くほどである。

峻節貫
秋霜

成美書

次号予告「煙花象外幽」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 峻節は秋霜を貫く(宋〈六朝〉顔延之)
気高い貞節は厳しい秋の霜を貫くほどである。



次号予告「煙花象外幽」

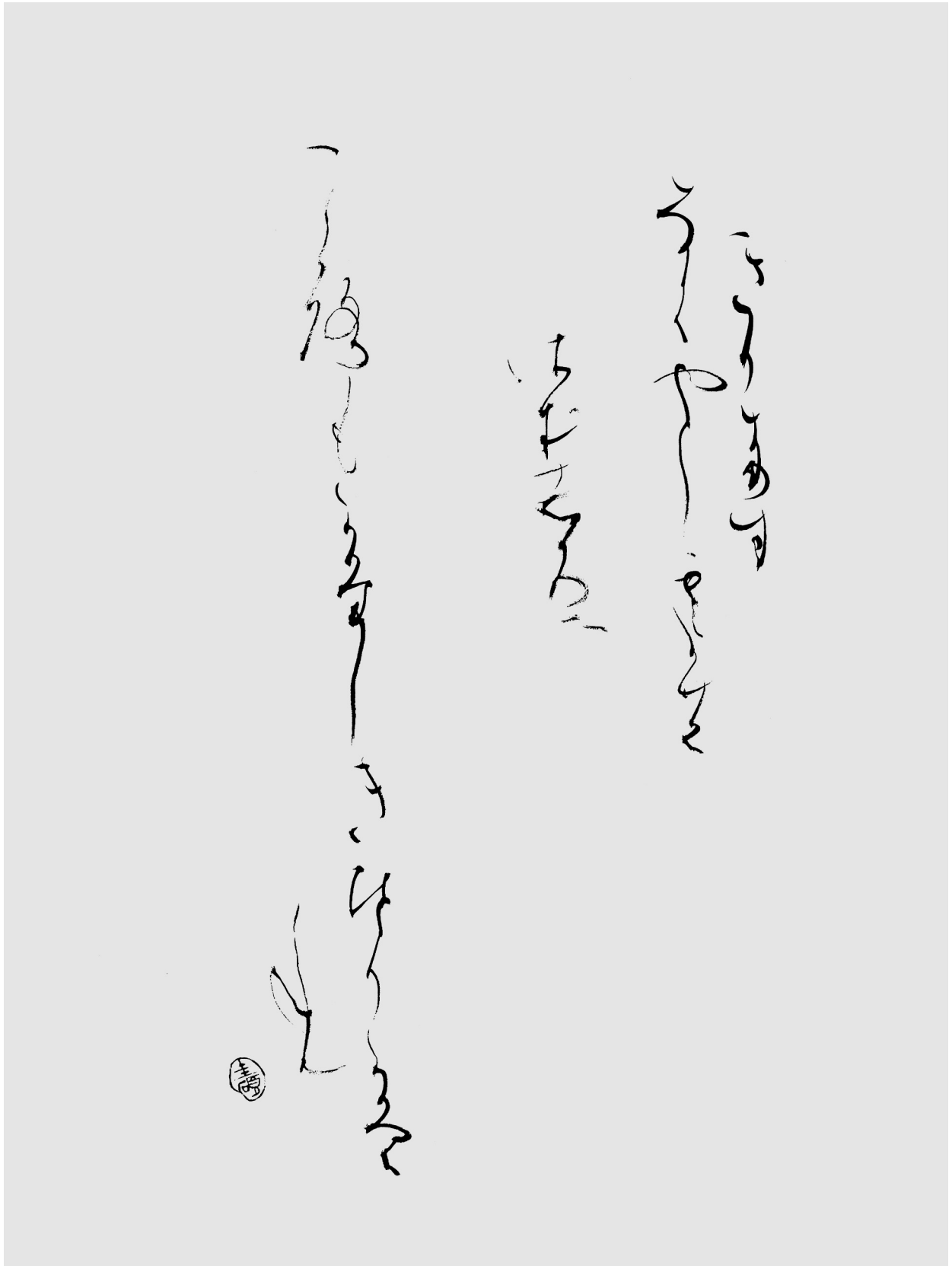
吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

きりきりす 鳴くや霜夜の さむしろに 衣かたしき ひとりかも寝む
きり^き支^きりす なくやしも^の農 佐^さむ志^しろ二^に こ路^ろも可^か堂^たしき ひとり可^か裳^も年^ね无^む

△百人一首九十二▽



舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

石井雀子の句

一粒の露重かりし
貝割菜

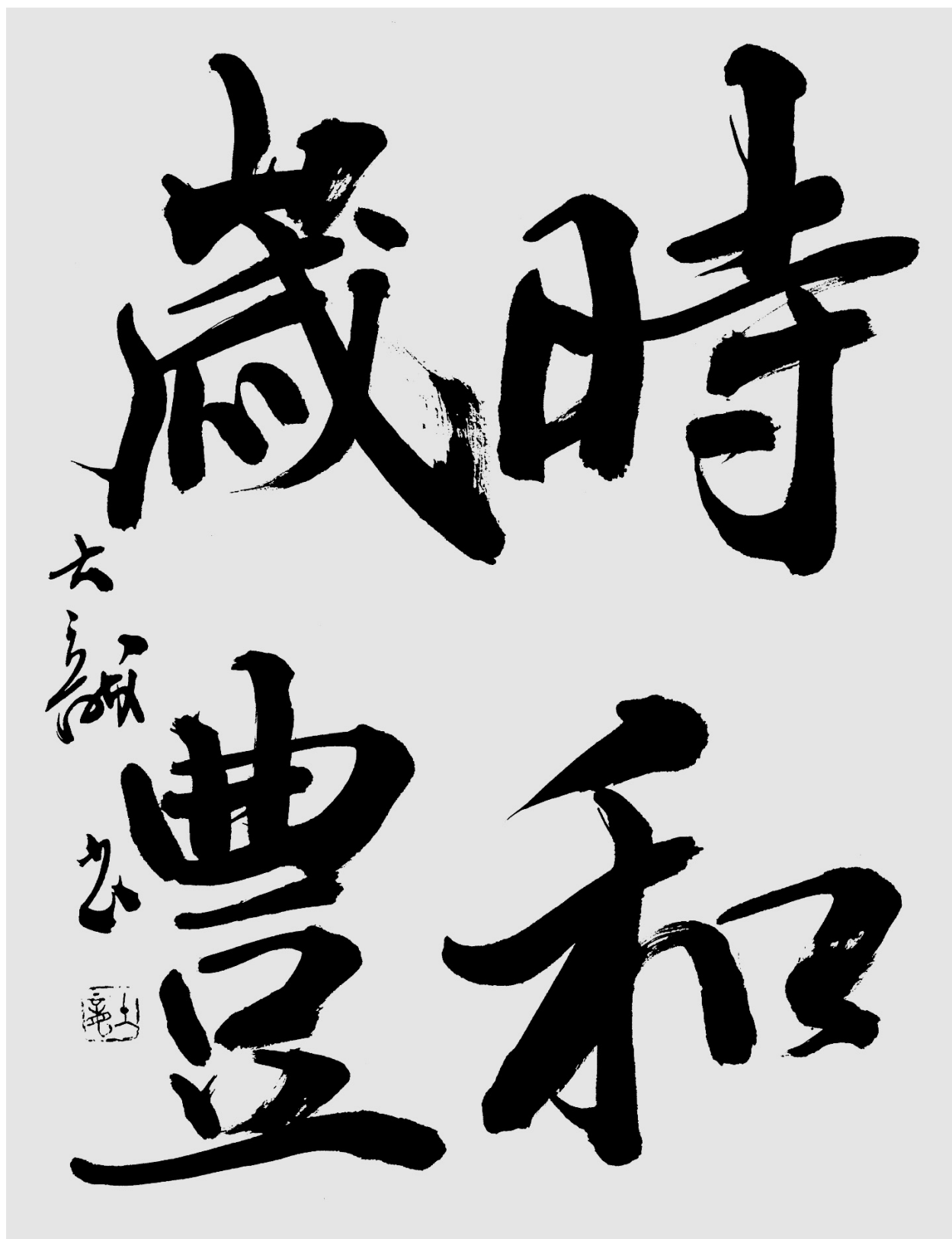


※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)

兵頭白慧先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 時和歳豊 時和し歳豊かなり (詩経) 小雅・華黍序
四時のめぐりが順調で、秋の実りが多い。



次号予告「禮貌」

清原大龍先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

形よりも動きのある線で、力強く伸びやかに書きましょう。

萬福雲歸

成美先生
吉田成美

「萬福雲歸」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

姓
号

福祉	応接	掲示	広報
健康	人事	渉外	宣伝
保険	勤労	受付	編集
診療	厚生	案内	放送

△実用書▽

広報
 宣伝
 編集
 放送
 掲示
 渉外
 受付
 案内
 福祉
 健康
 保険
 診療
 応接
 人事
 勤労
 厚生

秋永春霞先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

藤井聡太さんは今一番有名な中学生
です将棋の史上最年少棋士として
デビュー戦以来勝ち続けて前人未踏の
二十九連勝を成し遂げ爽やかな旋風
を巻き起こしています
善治

藤井聡太さんは今一番有名な中学生です将棋の史上最年少棋士としてデビュー戦以来勝ち続けて前人未踏の二十九連勝を成し遂げ爽やかな旋風を巻き起こしています

大坪桂子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

先日は、卒業以来の先生との再会、夢の
ような一日でした。学生時代の楽しかった
授業のこと、遅刻しそふ門に駆け
こんだこと、食堂の美味しメニューのこと。
懐かし話の花が咲きました。

気付けばあの頃の先生の年齢を超えて
いた私たち。先生のように素敵に歳を重ねて
いきたいと思ひます。いつもおえ気で。

陽子

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書



一般の方も是非チャレンジしてください。

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

秋の名月

小学4年

つり糸

小学3年

みかづき

小学2年

パリ

ようねん・小学1年

夕映えの空

中学2・3年

銀河系

中学1年

新たな決意

小学6年

実りの里

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼Ⅱ四尺画仙紙半折¼：68cm×17・5cm▽

□「み」の「むすび」は、筆の軸だけをまわさないように気をつけて書きましょう。

づみ
きか

小学二年

次号予告「アルバム」

□「パ」「リ」どちらも「ハライ」と「トメ」のちがいに気をつけて書きましょう。

パ
リ

ようねん・小学一年

次号予告「むぎ」

坂元紫香先生書

□「はらい」や「はね」、転折を意識し、全体のバランスに気をつけて書こう。

名
月

小学四年

次号予告「知る」

□平仮名はうでの動きを大きく、懐を広くし、「糸」は点画の組み立て方を考えて書こう。

糸
つり

小学三年

次号予告「水玉」

吉田成美先生書

□「決」は最終画の右払いを伸び伸びと。「意」は字形をやゝたて長にし、五画目を長めに。

決意

小学六年

次号予告「あけびの実」

□「実」と平仮名のバランスに気をつけ、「実」の左右の払いをゆっくり伸び伸びと。

実りの里

小学五年

次号予告「手紙」

秋永春霞先生書

□筆脈や筆圧の変化など行書の筆使いを意識して、漢字と仮名の調和に留意して書こう。

夕映えの空

中学二・三年

次号予告「理想の実現」(行書)

□行書の特徴である点画の連続を意識して、流れよく伸びやかに書こう。

銀河

中学一年

次号予告「挑戦」(行書)

吉田成美先生書

木 样 样 样
①はねる

進 (44)

小学三年

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

(५१५)

小学二年

小学四年

点字は「点」＝「ドット」と		い「人」が「考え出したもの		です。日本では「五十音に		組みかえて使っています。	
氏名		段級					

①「点」の「ち」にちゅういする
②「右から左へはう」はねる
「一」＋「土」＝「考」
「く」と「糸」＝「組」

小学五年

そのよく年も「残雪は」大群を		率にしてやって来ました。そして、		例によって「ぬき地」の「ち」でも		見通しのきく所をえき、場に		選んで「えき」をあたるのでした。	
氏名		段級							

①「ち」を出る
「ヨ」
「尹」
「群」
②「えき」出ない
「ま」の「く」下におろす
「一」＋「え」＝「率」
「ひき」
「ヨ」
「留」
「卒」
「異」
「選」
③「とめる」

小学六年

「かわせみだ。子どもらのかには、	
首をすくめて言いました。お父さ	
んのかには、遠眼鏡のような西	
方の目をあらんかきりのばして、	
よくよく見てから言いました。	

上のよこせんより長い
 ①とめる
 遠眼鏡 (とおめがね)
 金 鏡 鏡
 ②はらう
 ③すぐ下におろす
 ④上にはねる

段	級
氏 名	

雨もやみ、日は高く昇って、そろそろ	
暑くなってきた。メウスは額の汗を	
拳で払い、ニ、ニ、ニして来れば大丈夫、	
もはや故郷への未練はない。妹たち	
は、きいとい、夫婦になるだろ。	

多 紅 銀 銀 郷
 ⑤つき出ない
 ⑥多は三画で書く
 拳 (こぶし)

段	級
氏 名	

小 富 秋 聲 先 生 書